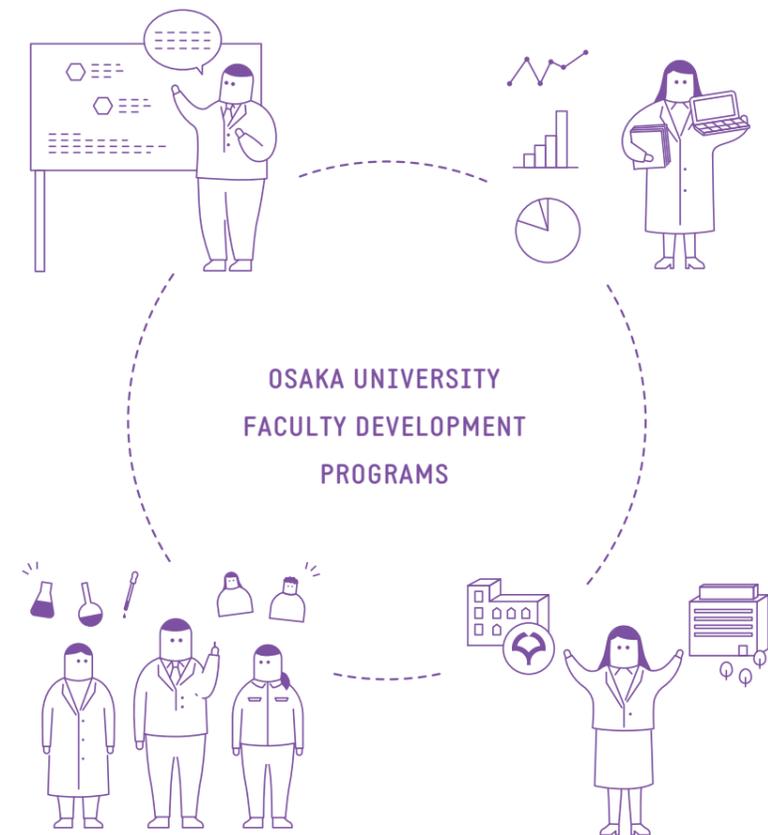


大阪大学教員のための

# ファカルティ・ディベロップメント プログラムガイド



お問い合わせ先

各FDプログラムの詳細については、  
開催部局にお問い合わせください。

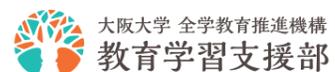


発行

大阪大学 FD 委員会

編集

大阪大学教育・学生支援部教育企画課総務係  
大阪大学全学教育推進機構教育学習支援部



2022 年度

10 月～3 月

## 大阪大学教員の皆様へ

2020年の新型コロナウイルス感染症拡大により私たちの日常生活は一変しましたが、本学では、教育・研究活動への影響を最小限とするため、できるだけ平常時に近い状態で大学活動を行えるよう対応を進めてきました。また、学生の学びを止めることのないよう円滑な授業実施を実現するため、新型コロナウイルス感染症への感染防止対策やメディア授業の準備など例年以上の対応にご協力いただき、心より感謝申し上げます。

このような状況の中では、これまで以上に高等教育機関としての大学が優れた人材を育成し、社会に貢献していくことが重要であると考えています。そのためには、教育を担う立場にある教員に高い教育・研究能力を備えることが必要であります。

本学は、2017年10月以降新たに採用された教員に対して、教育や研究に関する30時間の研修プログラムの受講を必須化しております。この取組によって、大学の社会に対する説明責任を果たすとともに、本学の各教員に、教員として必要となる能力を身につける権利を保障するものです。

もとより本プログラムガイドに掲載されているセミナーや研修自体は、新任教員だけではなく、全教員を対象として設計されています。また、コロナ新時代に対応したプログラムも多数開催されています。本学の教育、研究、社会学連携、マネジメントすべての領域で高いパフォーマンスを発揮するため、できるだけ多くの教員の皆様にご参加いただきたいと思います。

### 概要

## 大阪大学ファカルティ・ディベロップメント研修プログラム

大阪大学はFD(ファカルティ・ディベロップメント)に積極的に取り組んでいます。本プログラムは、教員として必要な①教育能力、②研究能力、③社会学連携能力、④マネジメント能力の4つのカテゴリーに分けて整理されています。伸ばしたい能力にあわせてプログラムガイドをご活用ください。

### 教育能力 開発プログラム

教育技法や教材作成方法、評価方法、学内の授業支援システム(CLE)の操作方法、多様な学生への理解など、阪大生の学習を促すための授業設計に関するプログラムです。



### マネジメント能力 開発プログラム

薬品や廃液の取扱など安全衛生に関わる内容や、各種コンプライアンスに関わる内容など、組織の管理運営能力の開発を目指すプログラムです。

### 研究能力 開発プログラム

学術情報の迅速かつ効率的な収集方法や発信方法、厳守すべき研究倫理など、研究を行う上で必要な能力開発を目指すプログラムです。

### 社会学連携能力 開発プログラム

緒方洪庵が開いた適塾や大阪大学の歴史など本学への理解を深めるプログラムや、実社会と連携した教育や研究の進め方についてのプログラムです。

## 新任教員の皆様へ

本学では、従来から教育指導・学習支援・学生支援能力の向上を図り、質の高い教育・学生支援活動の維持を目的として、FD(ファカルティ・ディベロップメント)に積極的に取り組んできました。これに加えて、本学へ新規採用となった教員の皆様に、本学の教員として身につけておくべき基本的な知識やスキルを習得する機会を提供するため、新任教員研修を必須化し、本学の教育、研究、社会学連携、学内運営に関する取組のさらなる向上を目指しています。

ウィズコロナの時代を迎えて、大学の在り方も大きく変わろうとしています。本学では、教職員及び学生の安心・安全及び教育・研究の質の確保を最優先として様々な取組を行っています。

本学へ新規採用となった講師・助教等の教員の皆様には、このプログラムガイドを参考に、全学及び各部署が実施する各種教員向け研修を採用後3年間で30時間受講していただき、教育、研究、社会学連携及びマネジメント能力の習得に努めてください。

2022年度後期のFD研修でも多岐にわたるプログラムが開講されます。本学の教員として教育研究に携わるうえで有益なものですので、積極的な受講をお願いします。



理事・副学長(教育担当)  
田中敏宏

### 🕒 研修プログラム受講必須時間数

新任教員の皆さんは採用後3年間で30時間のプログラムを受講してください。研修プログラムは分野ごとに4つのカテゴリーに分かれています。

#### 〈各プログラムの受講必須時間〉

- ▶ 教育能力 開発プログラム ..... 10時間以上
- ▶ 研究能力 開発プログラム ..... 4時間以上
- ▶ 社会学連携能力 開発プログラム ..... あわせて6時間以上
- ▶ マネジメント能力 開発プログラム ..... あわせて6時間以上

※研修プログラムの受講時間数は、学内ポータルサイト「マイハンド」内「大阪大学CLE(授業支援システム)」の「コミュニティページ」にて確認することができます。

### 🎓 新任教員研修の修了証書

上記の受講時間数を満たした場合は、新任教員研修の修了証を発行します。



#### 「未来の大学教員養成プログラム」等 ブレFDを修了した方へ

本学及び他大学においてブレFDプログラム(大学院生を対象とした教育能力開発プログラム)を修了した方は、修了プログラム等の内容に応じて、左記の研修プログラムの受講必須時間数に算入することができます。詳細については、所属部署の事務にお問合せください。

#### 修了証書

殿  
あなたは大阪大学新任教員研修プログラムにおいて30時間を修了しましたのでこれを証します

年 月 日  
大阪大学理事・副学長

### 📄 大阪大学全学FDプログラム受講証明制度

大阪大学全学教育推進機構教育学習支援部(旧:教育学習支援センター)では、2014年度から全学FDプログラムの受講証明制度を実施しています。教育学習支援部では、受講者の申し出に応じて、当部で提供しているプログラムに関して30時間ごとに受講証明書を発行します(上限120時間)。

詳しくは、こちら → [https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd\\_program/](https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd_program/)

# 研修プログラム一覧〈令和4年度下期(2022.10～2023.3)通年開催分〉

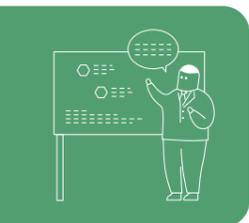
カテゴリ	掲載ページ	対象者の限定	研修題目 (研究テーマ/タイトル)	研修形式	日時	時間数	募集定員	使用言語	開催部局
10月									
教育	P.6	—	ストレスの弊害と対処法(中医学的視点から)	対面 オンライン	10月5日 13:30-16:00	2.5	対面:30名 オンライン: 制限なし	日本語	工学研究科
教育	P.6	○	対面授業再考	対面 オンデマンド	10月6日 14:00-14:30	計1	約100名	日本語	人文学研究科
教育	P.6	—	アクティブ・ラーニングを取り入れた授業デザイン	オンライン	10月13日 15:10-16:40	1.5	制限なし	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
研究	P.14	—	STEMコンピューティング・プラットフォームMaple講習会	オンライン	10月21日 9:00-12:00	3	300名 程度	日本語	サイバーメディアセンター
教育	P.6	—	学生の心理	オンライン	10月25日 14:00-15:30	1.5	40名	日本語	キャンパスライフ健康支援・ 相談センター
教育	P.7	—	ブレンデッド授業環境における教材作成法	対面 オンライン	10月27日 16:50-18:20	1.5	15名	日本語	SLICSセンター、 全学教育推進機構 教育学習支援部
研究	P.14	—	特許入門セミナー～研究成果を適切に活用するために～	オンライン	10月29日 13:00-16:15	3	20名	日本語	知的基盤総合センター
11月									
社会学連携	P.18	—	研究・教育のアウトリーチ活動における大学博物館の活用	対面	11月1日 13:00-14:30	1.5	15名	日本語	総合学術博物館
教育	P.7	○	高等司法研究科FD講演会 (外部講師によるモデル授業、意見交換会)	オンライン	11月2日 10:30-13:40	3	制限なし	日本語	高等司法研究科
研究	P.14	—	研究室の教育指導	オンライン	11月7日 13:00-15:00	2	制限なし	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P.7	—	ブレンデッド授業の設計法	オンライン	11月8日 12:15-13:00	0.75	制限なし	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P.8	—	研究室不登校の学生へのアプローチについて	対面 オンライン	11月8日 13:30-15:00	1.5	対面:30名 オンライン: 制限なし	日本語	工学研究科
研究	P.14	—	研究室の教育指導	オンライン	11月9日 13:00-15:00	2	制限なし	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P.8	—	ブレンデッド授業の評価	オンライン	11月10日 12:15-13:00	0.75	制限なし	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
マネジメント	P.20	○	メンタルヘルスマネジメント講習会	対面	11月17日 14:00-15:00	1	60名 程度	日本語	産業科学研究所
マネジメント	P.20	○	人文学研究科ハラスメント防止研修会	対面	11月17日 15:10-16:10	1	制限なし	日本語	人文学研究科
教育	P.8	—	ブレンデッド授業の実施法	対面	11月17日 16:50-18:20	1.5	25名	日本語	SLICSセンター、 全学教育推進機構 教育学習支援部
研究	P.14	—	日本の科学技術政策の現在と課題 —第6期科学技術・イノベーション基本計画を中心に	オンライン	11月21日 15:00-16:30	1.5	90名 程度	日本語	社会技術共創研究センター
社会学連携	P.18	—	大阪大学の歴史	オンライン	11月21日 15:10-16:40	1.5	40名	日本語	アーカイブズ
教育	P.8	—	学生のこころへの関わり方	対面 オンライン	11月22日 13:30-15:00	1.5	対面:30名 オンライン: 制限なし	日本語	工学研究科
研究	P.15	—	研究評価を知る—日本の制度と海外の状況	オンライン	11月28日 15:00-16:30	1.5	90名 程度	日本語	社会技術共創研究センター
マネジメント	P.20	○	コンプライアンス講習会	オンデマンド	11月頃	1	200名	日本語	蛋白質研究所
マネジメント	P.20	○	蛋白研防災安全講習会	対面	11月頃	1	200名	日本語	蛋白質研究所
12月									
教育	P.6	—	アクティブ・ラーニングを取り入れた授業デザイン	オンライン	12月15日 13:30-15:00	1.5	制限なし	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P.9	—	外国人留学生に向けたキャリア・就職支援の方法	オンライン	12月19日 13:30-15:00	1.5	40名	日本語	国際教育交流センター、 キャリアセンター
2月									
教育	P.9	—	授業づくりワークショップ	オンライン	2月9日、10日 各日 10:00-18:00	20	16名 (最小開催 人数4名)	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
3月									
マネジメント	P.21	○	文学部ハラスメント防止講習会	対面	3月7日 15:40-16:40	1	90名	日本語	文学部
教育	P.9	—	傾聴セミナー	対面	3月14日 13:30-15:00	1.5	20名	日本語	キャンパスライフ健康支援・ 相談センター
複数月開催									
研究	P.15	—	個人研究力分析とその活用(国際的に見える研究へ)	対面	11月21日 16:00-17:00 12月5日 16:00-17:00 12月19日 16:00-17:00	計3	20名	日本語	経営企画オフィス
研究	P.15	○	RIMD FD seminar series: Academic English for RIMD Researchers	対面	2月～3月 4回開催予定	6	20名	English	微生物病研究所

※掲載内容は8月4日時点の情報です。

新型コロナウイルス感染症の感染状況により、対面での研修が困難となった場合、プログラムを中止、もしくは、オンライン形式での実施へ変更となる可能性があります。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンドアイ」(FD関係)にてご確認ください。



カテゴリ	掲載ページ	対象者の限定	研修題目 (研究テーマ/タイトル)	研修形式	日時	時間数	募集定員	使用言語	開催部局
未定									
マネジメント	P.21	○	キャンパスハラスメントに関する研修会	対面	日時未定	1	約100名	日本語	人文学研究科・外国語学部
マネジメント	P.21	—	電気コンセントと電気配線の安全講習	オンデマンド	日時未定	1	制限なし	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.21	—	高圧ガス・液体寒剤に関する安全講習 (低温センター吹田分室編)	対面 オンライン オンデマンド	日時未定	1.5	未定	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.22	—	高圧ガス・液体寒剤に関する安全講習 (低温センター豊中分室編)	対面 オンライン オンデマンド	日時未定	1.5	未定	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.22	—	実験系廃液・排水の取扱い	対面 オンライン オンデマンド	日時未定	1	未定	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.22	—	詳解：化学物質安全取扱講習	対面 オンライン	日時未定	1.5	未定	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.22	—	大阪大学高圧ガス管理支援システム(OGCS)利用講習	対面 オンライン オンデマンド	日時未定	1	未定	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.23	—	大阪大学薬品管理支援システム(OCCS IV)の利用について	対面 オンライン オンデマンド	日時未定	1	未定	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.23	—	非化学系のための化学薬品取扱講習	対面 オンライン	日時未定	1.5	未定	日本語	安全衛生管理部
教育	P.7	○	高等司法研究科FD講演会 (外部講師によるモデル授業、意見交換会)	対面	10月～1月に 開催予定	3	未定	日本語	高等司法研究科
マネジメント	P.23	○	ハラスメント防止に関する講習会	対面	11月～2月頃予定 14:00-15:30	1.5	50名	日本語	産業科学研究所
社会学連携	P.18	—	新任教員向け適塾見学会～阪大の歴史を辿る～	対面	2月～3月頃	1.5	25名	日本語	適塾記念センター
社会学連携	P.19	—	適塾から受け継ぐレガシー-歴史・精神・文化財-	オンライン	2月～3月頃	2.5	100名	日本語	適塾記念センター
随時・定期開催									
教育	P.10	—	コンサルティングサービス —授業改善などのための個別相談—	オンライン	随時受付	1	各回 数名程度	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
研究	P.15	○	不正防止について	オンデマンド	適宜	0.33	制限なし	日本語/ English	微生物病研究所、 免疫学フロンティア 研究センター
マネジメント	P.23	○	公的研究費の使用に関するコンプライアンス教育について	対面	新規採用教員に 採用説明時に 実施	0.75	未設定	日本語	人文学研究科
社会学連携	P.19	—	映画「洪庵と1,000人の若ものたち」鑑賞と解説	オンデマンド	10月～3月 (随時)	1.5	制限なし	日本語	適塾記念センター
研究	P.16	○	生命機能研究科コロキウム(FBSコロキウム)	オンライン	毎週木曜日 12:15-13:00	0.75	300名	日本語/ English	生命機能研究科
研究	P.16	○	ISTランチセミナー	対面又は オンライン	毎週1回程度 12:00-13:00	1	各回 30名	日本語/ English	情報科学研究科
教育	P.10	○	FD研修会	対面 オンライン	隔月1回程度 (日程未定)	各回1 程度	各回 60名程度	日本語	蛋白質研究所
研究	P.16	○	蛋白研コロキウム	対面 オンライン	隔月1回程度 (日程未定)	各回1 程度	各回 60名程度	日本語	蛋白質研究所
研究	P.16	○	ISTネットワークイベント	対面又は オンライン	隔月	1.5	各回 30名	日本語/ English	情報科学研究科
研究	P.17	—	アドバンスセミナー	対面 オンライン	毎月1回 (3月を除く) 16:00-17:00	各回 1	制限なし	日本語/ English	微生物病研究所、 免疫学フロンティア 研究センター
研究	P.17	○	微研集談会	対面又は オンライン	毎月第4火曜日 (12月を除く) 16:00-17:00	各回 1	制限なし	日本語/ English	微生物病研究所、 免疫学フロンティア 研究センター
教育	P.10	—	障がい学生のキャリア支援 ～職場への定着を見据えた精神・発達障がい者のキャリア支援～	オンデマンド	～2月28日	1	制限なし	日本語	キャリアセンター、 キャンパスライフ健康支援・ 相談センター
教育	P.11	—	障がい学生のキャリア支援 ～社会移行を見据えた修学支援とキャリア支援～	オンデマンド	～2月28日	1	制限なし	日本語	キャリアセンター、 キャンパスライフ健康支援・ 相談センター
教育	P.11	—	ポストドク・博士課程学生のキャリア・就職支援【指導編】	オンデマンド	～2月28日	1	制限なし	日本語	キャリアセンター
教育	P.11	—	ポストドク・博士課程学生のキャリア・就職支援【知識編】	オンデマンド	～2月28日	1	制限なし	日本語	キャリアセンター
教育	P.12	—	メディア授業講習会	オンデマンド	～3月31日	3	制限なし	日本語	サイバーメディアセンター
教育	P.12	—	授業支援システム(CLE)入門講座	オンデマンド	～3月31日	1.5	制限なし	日本語	サイバーメディアセンター
教育	P.12	—	授業支援システム(CLE)応用講座	オンデマンド	～3月31日	2.5	制限なし	日本語	サイバーメディアセンター
教育	P.13	—	オンラインビデオ教材作成法(Echo編)	オンデマンド	～3月31日	1.5	制限なし	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部、 サイバーメディアセンター
研究	P.17	—	オープンアクセスを巡る状況と 大阪大学におけるオープンアクセス支援	オンデマンド	～3月31日	1	制限なし	日本語	附属図書館、 経営企画オフィスURA部門



## 教育能力 開発プログラム

教育技法や教材作成方法、評価方法、学内の授業支援システム(CLE)の操作方法、多様な学生への理解など、阪大生の学習を促すための授業設計に関するプログラムです。

◎受講にあたり、特別な配慮が必要な場合、開催2週間前までにご連絡ください。  
◎本プログラムへの参加は「大阪大学FDポイント」に反映されます。ご自身のFDポイントはCLE上で確認できます。

## ストレスの弊害と対処法（中医学的視点から）

講師：中本かよ(大阪漢方医学振興財団 理事長、医師)

吹田 オンライン 10月5日 13:30-16:00

〈キーワード〉ストレス・マネジメント、メンタルヘルスケア

〈概要〉まず、ストレスと健康との関係について学びます。その後、健康で更なる良い研究・教育を実践するための、ストレス・マネジメントの具体的な手法として、足助式医療体操について学びます。体験演習の都合上、動きやすい服装、履物でご参加頂けますようお願い申し上げます。

《問合せ先：工学研究科 コンプライアンス室 レジリエンス教育部門 工学部・工学研究科相談室  
✉negishi@compliance.eng.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：工学研究科 総務課 コンプライアンス推進室までメールでお申し込みください。  
✉kou-soumu-compliance@office.osaka-u.ac.jp》



限定 人文学研究科

## 対面授業再考

講師：村上正行(全学教育推進機構 教授)

浦田悠(スチューデント・ライフサイクルサポートセンター 特任准教授)

豊中 オンデマンド 10月6日 14:00-14:30

〈キーワード〉メディア授業、対面授業

〈概要〉新型コロナウイルス感染の流行後の2年間、教員はメディア授業への対応を工夫してきました。現在、少しずつ対面授業が復活しているからこそ、改めて対面で行う意義を問い直し、あるべき授業の設計方法を模索します。研修はオンライン(オンデマンド)と対面とを組み合わせ、対面で行う当日には、簡単なワークや質疑のような、交流できる時間を取ります。

《問合せ先：人文学研究科 評価・広報室 室長 斎藤理生 ✉samsa@let.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：原則として開催部局内限定。他部局所属の教職員の参加については応相談。》



## アクティブ・ラーニングを取り入れた授業デザイン

講師：村上正行(全学教育推進機構 教授)

オンライン 10月13日 15:10-16:40、12月15日 13:30-15:00

〈キーワード〉アクティブ・ラーニング、教育技法

〈概要〉アクティブ・ラーニングとは、学生の学習意欲の向上や汎用的能力の育成に有効な教授・学習法の総称です。本研修では、大学におけるアクティブ・ラーニングの導入背景や、対面授業やオンライン授業に活用できるアクティブ・ラーニングの手法について説明します。また、学生の主体的な学習活動を促す様々な教育技法を組み合わせアクティブ・ラーニング型授業をデザインする方法についても考えます。

《問合せ先：全学教育推進機構 教育学習支援部 ✉tlsc@celas.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：全学教育推進機構 教育学習支援部のウェブサイト(http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/)にて、開催前日の15時までに申し込みください。》



## 学生の心理

講師：石金直美(キャンパスライフ健康支援・相談センター 准教授)

オンライン 10月25日 14:00-15:30

〈キーワード〉学生の心理的特徴、心理的問題、学生とのコミュニケーションのコツ

〈概要〉まず上記のテーマ(学生の心理的特徴、心理的問題、学生とのコミュニケーションのコツ)について講義形式で学びます。後半は模擬事例を用いてディスカッションや簡単なロールプレイを行います。  
本研修は、最近の学生の心理的特徴や心理的問題に対する理解を深め、よりよいコミュニケーションの取り方を身につけることを目的とします。

《問合せ先：キャンパスライフ健康支援・相談センター 庶務係 ✉campuslifekenkou-syomu@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：1か月程度前に全学掲示板に掲載する開催案内に従って、メールにて事前申込をお願いします。  
新任教員研修プログラムのポイントが必要な方は申込時に大阪大学個人IDをお知らせください。》



## ブレンデッド授業環境における教材作成法

講師：権藤千恵(スチューデント・ライフサイクルサポートセンター 特任助教)

豊中 オンライン 10月27日 16:50-18:20

〈キーワード〉ブレンデッド授業、教材作成、ICT活用

〈概要〉新型コロナウイルスの感染拡大をきっかけに、オンラインやハイフレックスなど、ブレンデッド授業の実施が増えています。メディア授業下では、デジタル学習環境に適した教材作成が求められます。本セミナーでは、主としてメディア授業向けのスライド及び動画などの教材作成について、授業内容や学生の学習環境に合わせたビデオ教材を作成することを目的にセミナーを行います。  
\*本セミナーは対面・オンラインによる同時双方向型で実施します。  
\*オンラインの場合は、セミナー中にカメラとマイクをオンにできるように準備をお願いします。

《問合せ先：全学教育推進機構 教育学習支援部 ✉tlsc@celas.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：全学教育推進機構 教育学習支援部のウェブサイト(http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/)にて、開催前日の15時までに申し込みください。》



限定 法学系 全教員

## 高等司法研究科FD講演会 (外部講師によるモデル授業、意見交換会)

講師：他大学法科大学院等の教員

豊中 10月~1月に開催予定

オンライン 11月2日 10:30-13:40

〈キーワード〉説明、指示、板書、配布資料、教室マネジメント

〈概要〉他大学法科大学院との教員のモデル授業に参加し、授業の進め方、教授方法、配布資料等を実際に見学・見聞します。続く意見交換会では、当該教員の他、複数の法科大学院の教員が出席して、意見交換を行います。これにより、学生の知識習得と理解向上のため、必要なスキルを習得し、教育能力を向上することを、目的とします。

《問合せ先：高等司法研究科 教務係 ✉houkou-kousikyomu@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：高等司法研究科 授業担当教員、法学系新任教員に対してメールにて通知予定。》



## ブレンデッド授業の設計法

講師：佐藤浩章(全学教育推進機構 准教授)

オンライン 11月8日 12:15-13:00

〈キーワード〉ブレンデッド授業・学習

〈概要〉ブレンデッド授業とは、対面とオンラインを学習効果が最大限に高まるように組み合わせ、統合した授業法のことです。本研修では、その設計方法の基礎について学びます。尚、CLEの使用方法については扱いません。別途、サイバーメディアセンターが提供するCLE研修を受講ください。

《問合せ先：全学教育推進機構 教育学習支援部 ✉tlsc@celas.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：全学教育推進機構 教育学習支援部のウェブサイト(http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/)にて、開催前日の15時までに申し込みください。》



※掲載内容は8月4日時点の情報です。  
新型コロナウイルス感染症の感染状況により、対面での研修が困難となった場合、プログラムを中止、もしくは、オンライン形式での実施へ変更となる可能性があります。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」(FD関係)にてご確認ください。



## 教育能力 開発プログラム

### 研究室不登校の学生へのアプローチについて

講師：根岸和政(工学研究科 講師)

吹田 **オンライン** 11月8日 13:30-15:00

〈キーワード〉 研究室不登校の要因、人間の行動原理、共感、レジリエンス、ストレス

〈概要〉 研究室不登校に陥ると、孤立無援感に苛まれ復帰することが容易でないことから、早めの対処が求められる。また、研究室の運営、チームワークにも支障をきたすばかりか、教職員の負担も増加する。この観点から基本的な対応法を紹介する。

《問合せ先：工学研究科 コンプライアンス室 レジリエンス教育部門 工学部・工学研究科相談室  
✉negishi@compliance.eng.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：工学研究科 総務課 コンプライアンス推進室までメールでお申し込みください。  
✉kou-soumu-compliance@office.osaka-u.ac.jp》



### ブレンデッド授業の評価

講師：佐藤浩章(全学教育推進機構 准教授)

オンライン 11月10日 12:15-13:00

〈キーワード〉 ブレンデッド授業・学習、評価

〈概要〉 ブレンデッド授業とは、対面とオンラインを学習効果が最大限に高まるように組み合わせ、統合した授業法のことです。本研修では、その評価方法、とりわけオンラインでの評価方法について学びます。尚、CLEの使用方法については扱いません。別途、サイバーメディアセンターが提供するCLE研修を受講ください。

《問合せ先：全学教育推進機構 教育学習支援部 ✉tlsc@celas.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：全学教育推進機構 教育学習支援部のウェブサイト (<http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/>)にて、開催前日の15時までに申し込みください。》



### ブレンデッド授業の実施法

講師：浦田悠(スチューデント・ライフサイクルサポートセンター 特任准教授)  
権藤千恵(スチューデント・ライフサイクルサポートセンター 特任助教)  
村上正行(全学教育推進機構 教授)

豊中 11月17日 16:50-18:20

〈キーワード〉 ブレンデッド授業、ハイフレックス型授業、ICT活用

〈概要〉 全学的に推進されているブレンデッド教育の中でも、対面とオンラインの学生が混在するハイフレックス型で授業を実施する場合、両者に高品質な音声や映像を提供することが授業を成立させる鍵となります。本研修では、まず前半にハイフレックス型授業の特徴や留意すべきこと、および実際に必要な機材や設置方法等を紹介し、後半では、機材の設置や設定についてデモやハンズオンを行い、対面とオンラインでのやりとりがどのようにできるか、起こりやすいトラブルをどのように解決するかを体験しつつ、ノウハウを共有していただきます。

\*当日は、可能であれば、Zoomがインストールされたパソコンをご持参ください。

《問合せ先：全学教育推進機構 教育学習支援部 ✉tlsc@celas.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：全学教育推進機構 教育学習支援部のウェブサイト (<http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/>)にて、開催前日の15時までに申し込みください。》



### 学生のこころへの関わり方

講師：根岸和政(工学研究科 講師)

吹田 **オンライン** 11月22日 13:30-15:00

〈キーワード〉 共感、レジリエンス、学生指導上の留意点

〈概要〉 人間の行動原理、学生の心情、その関わり方について紹介する。

《問合せ先：工学研究科 コンプライアンス室 レジリエンス教育部門 工学部・工学研究科相談室  
✉negishi@compliance.eng.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：工学研究科 総務課 コンプライアンス推進室までメールでお申し込みください。  
✉kou-soumu-compliance@office.osaka-u.ac.jp》



- 定員
- 受講時間
- 使用言語
- 研修形式

### 外国人留学生に向けたキャリア・就職支援の方法

講師：魚崎典子(国際教育交流センター 特任准教授)

オンライン 12月19日 13:30-15:00

〈キーワード〉 外国人留学生、キャリアサポート、就職支援

〈概要〉 政府は「日本再興戦略2016」の中で外国人留学生の日本国内での就職率を向上させるという目標を掲げました。その結果、産官学が連携した留学生就職支援の様々な試みが行われています。しかしながら世界に類を見ない日本の複雑な就活プロセスが留学生の日本での就職を困難にしています。本セミナーでは留学生に対して就職支援を行うにあたって直面する種々の問題とその解決策について学びます。

〈目的〉 外国人留学生の日本での就職の現状と課題を把握し、外国人留学生にキャリアサポートを行う上で必要な基本的な知識を身につけることを目的とする。

《問合せ先：国際教育交流センター ✉career@ciee.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：受講希望者は、キャリアセンターHP (<http://career.osaka-u.ac.jp/staff/>) のセミナー申込サイトより申し込んでください。》



### 授業づくりワークショップ

講師：佐藤浩章(全学教育推進機構 准教授)

村上正行(全学教育推進機構 教授)

浦田悠(スチューデント・ライフサイクルサポートセンター 特任准教授)

金賢真(スチューデント・ライフサイクルサポートセンター 特任助教)

楠本真二(全学教育推進機構/情報科学研究科 教授)

オンライン 2月9日、10日 各日10:00-18:00

〈キーワード〉 コースデザイン、学習者中心、シラバス、クラスデザイン、マイクロティーチング

〈概要〉 本ワークショップでは、学習者中心の授業の設計方法を学んだうえで、ご自身のシラバスや授業のブラッシュアップを行います。対面授業をどのようにオンライン授業に移行していけば良いのか？オンライン授業と対面授業をどのように組み合わせたら良いのか？今回の授業づくりワークショップでは、通常の内容に加え、オンライン時代の授業づくりを検討します。専門家からのフィードバックをもらい、同じ悩みや不安を抱えた教員と改善のアイデアを練ることで、授業のさらなる質向上を目指します。単発で開催されているシラバス作成法、講義法、アクティブ・ラーニング、学習評価、ルーブリック評価の内容を集中的に学ぶことができるという点で効率的です。

\*パソコン及び改善したいシラバスをご準備ください。

\*全課程修了後に修了証が授与されます。

\*途中からの参加・退会はご遠慮ください。

《問合せ先：全学教育推進機構 教育学習支援部 ✉tlsc@celas.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：全学教育推進機構 教育学習支援部のウェブサイト (<http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/>)にて、開催2週間前までに申し込みください。》



### 傾聴セミナー

講師：竹中菜苗(キャンパスライフ健康支援・相談センター 講師)

豊中 3月14日 13:30-15:00

〈キーワード〉 学生とのコミュニケーション・共感

〈概要〉 学生への研究指導においては、教員と学生の間に「何でも相談できる」という信頼関係が築かれていることが望ましいです。本研修では、学生との円滑なコミュニケーションを可能にするための一つの手がかりを提供することを目的として、心理カウンセリングにおいてカウンセラーが実践する「傾聴」について、講義とワーク形式で学びます。

《問合せ先：キャンパスライフ健康支援・相談センター 庶務係 ✉campuslifekenkou-syomu@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：1か月程度前に全学掲示板に掲載する開催案内に従って、メールにて事前申込をお願いします。新任教員研修プログラムのポイントが必要な方は申込時に大阪大学個人IDをお知らせください。》



※掲載内容は8月4日時点の情報です。新型コロナウイルス感染症の感染状況により、対面での研修が困難となった場合、プログラムを中止、もしくは、オンライン形式での実施へ変更となる可能性があります。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」(FD関係)にてご確認ください。



## 教育能力 開発プログラム

### コンサルティングサービス — 授業改善などのための個別相談 —

講師：全学教育推進機構 教育学習支援部教員

**オンライン** 随時受付

〈キーワード〉授業デザインのプロセス、学生の学習、教育内容、学習成果、教授法、学習評価

〈概要〉授業デザインやシラバス、教授法、評価など、教育に関する様々なご相談を承っております。ご要望に応じて、改善策を練るご支援や情報提供、ご提案をいたします。お気軽に申込先のウェブホームからご連絡ください。

【これまでのご相談例】・リアルタイムのオンライン授業でグループ学習を実施したい

- ・タブレット端末やスマートフォンを活用した授業をしたい
- ・英語での講義を担当することになったが、不安である
- ・研究室をうまくマネジメントできない

《問合先：全学教育推進機構 教育学習支援部》 [✉tlsc@celas.osaka-u.ac.jp](mailto:tlsc@celas.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：全学教育推進機構 教育学習支援部のコンサルティングサービスのウェブページ ([https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd\\_program/consulting.html](https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd_program/consulting.html)) にて、随時受け付けています。》



各回数名  
程度

1時間

日本語

オンライン

**限定** 蛋白質研究所

### FD研修会

講師：各回によって異なる

**吹田** **オンライン** 隔月1回程度（日程未定）

〈キーワード〉教育、研究、蛋白質

〈概要〉従来の教育・研究活動を超えて、所内教員の教育・研究遂行能力を高めることを目的とし、学内外から様々な分野の研究者やFD担当専門員を招聘し、研修会を開催します。年数回、場所は蛋白質研究所本館1階講堂で行います。若手研究者として大学院生も対象となる場合があります。

《問合先：蛋白質研究所 庶務係》 [✉tanpakuken-syomu@office.osaka-u.ac.jp](mailto:tanpakuken-syomu@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：開催の約1か月前に本部局構成員宛てメールにて通知予定。》



各回60名  
程度

各回  
1時間程度

日本語

対面  
オンライン

### 障がい学生のキャリア支援～職場への定着を見据えた 精神・発達障がい者のキャリア支援～

講師：池田浩之(兵庫教育大学 助教)

**オンデマンド** ～2月28日

〈キーワード〉就職支援、障がい学生支援、合理的配慮、精神障害、発達障害

〈概要〉精神障害・発達障害のある方の卒後の就職・就労支援に関する現状をお伝えしていきます。教育・医療・福祉・産業領域をまたぐ「働く」ための支援はどのようなものであるのか、対個人の支援から、対環境（企業）への支援まで、社会制度と合わせてご紹介いたします。講師は臨床心理学（認知行動療法）の専門であるため、心理的支援を中心にしてお伝えします。

〈目的〉障がいのある学生等、一般の就職活動とは違う形での就職活動が必要な学生の支援を行う上で必要な基本的な知識を身につけることを目的とする。

《問合先：キャリアセンター》 [✉fd@career.osaka-u.ac.jp](mailto:fd@career.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：事前の受講申込は不要です。CLE（キャリアセンターFD）に掲載します。》



制限なし

1時間

日本語

オンデマンド

### 障がい学生のキャリア支援 ～社会移行を見据えた修学支援とキャリア支援～

講師：村田淳(京都大学 学生総合支援機構 准教授)

**オンデマンド** ～2月28日

〈キーワード〉就職支援、障がい学生支援、合理的配慮

〈概要〉障害者差別解消法（2016年4月施行）により、国公立大学では障がいのある学生に対する合理的配慮の提供が義務化され、修学上の障がい学生支援体制は整備されつつあります。しかし、このような障がいのある学生に対するキャリア・就職支援は、多くの大学において十分なノウハウがありません。就職活動そのものに対する支援のあり方だけでなく、障がいのある学生の社会進出のプロセスとして、総合的なキャリア支援の必要性について理解を深めます。

〈目的〉障がいのある学生（障がい特性のある学生を含む）の就職活動の支援について基本的な知識を身につけるとともに、修学支援のプロセスも含めた総合的なキャリア支援の必要性について考える機会とする。

《問合先：キャリアセンター》 [✉fd@career.osaka-u.ac.jp](mailto:fd@career.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：事前の受講申込は不要です。CLE（キャリアセンターFD）に掲載します。》



制限なし

1時間

日本語

オンデマンド

### ポスドク・博士課程学生のキャリア・就職支援 【指導編】

講師：松尾誠二(株式会社イノベーターズ・キャリア・サポート 代表取締役社長)

**オンデマンド** ～2月28日

〈キーワード〉博士、企業、就職活動、学生指導、コーチング・スキル

〈概要〉博士課程学生の就職活動に関しては情報が少なく、学生も苦勞する傾向があります。企業の博士採用に関する情報を基に、民間企業就職を希望する博士課程学生に対してアドバイスをする方法（コーチング・スキルやコミュニケーション・スキルを含む）を学びます。

〈目的〉ポスドク・博士課程学生の就活の実情を知り的確なサポートができるようになる。さらには、博士進学が就職かを悩んでいる修士の学生に正しい情報を伝え、キャリア選択の幅を広げるべく支援できるようになる。

《問合先：キャリアセンター》 [✉fd@career.osaka-u.ac.jp](mailto:fd@career.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：事前の受講申込は不要です。CLE（キャリアセンターFD）に掲載します。》



制限なし

1時間

日本語

オンデマンド

### ポスドク・博士課程学生のキャリア・就職支援 【知識編】

講師：松尾誠二(株式会社イノベーターズ・キャリア・サポート 代表取締役社長)

**オンデマンド** ～2月28日

〈キーワード〉博士、企業、就職活動、研究、インターンシップ

〈概要〉博士後期課程への進学を修了後のキャリアパスが不透明という理由で躊躇する学生が少なくありません。しかし、実態は必ずしもそうではありません。正しい情報を学生に伝えて、キャリア選択の幅を広げるべく、博士の意識、企業の考え、各種統計データを共有し、就活の実務や研究インターンシップ等のキャリア教育まで含めて学びます。

〈目的〉ポスドク・博士課程学生の現在の就職状況を各種データに基づいて正しく理解する。そして、研究活動とキャリア教育を両立させるための研究インターンシップについて知り、学生に還元できるようになる。

《問合先：キャリアセンター》 [✉fd@career.osaka-u.ac.jp](mailto:fd@career.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：事前の受講申込は不要です。CLE（キャリアセンターFD）に掲載します。》



制限なし

1時間

日本語

オンデマンド

定員

受講時間

使用言語

研修形式

※掲載内容は8月4日時点の情報です。  
新型コロナウイルス感染症の感染状況により、対面での研修が困難となった場合、プログラムを中止、もしくは、オンライン形式での実施へ変更となる可能性があります。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」(FD関係)にてご確認ください。



## 教育能力 開発プログラム

### メディア授業講習会

講師：白井詩沙香(サイバーメディアセンター 講師)  
浦西友樹(サイバーメディアセンター 准教授)  
竹村治雄(サイバーメディアセンター 教授)



制限なし 3時間 日本語 オンデマンド

オンデマンド ~3月31日

〈キーワード〉授業支援システム、LMS、教育学習支援情報システム、教育情報化

〈概要〉本研修では、メディア授業のコース作成方法の修得を目的に、授業支援システム CLE および各種システムの活用方法を学びます。本研修は講義動画による非同期型の研修です。

《問合せ先：サイバーメディアセンター 情報メディア教育研究部門 ☐ecs-request@ecs.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：事前の受講申込は不要です。  
CLEにログイン後、CLEの「CMC情報教育システムオンラインセミナー」コミュニティへ参加ください。》

### 授業支援システム(CLE)入門講座

講師：外部講師

白井詩沙香(サイバーメディアセンター 講師)  
浦西友樹(サイバーメディアセンター 准教授)



制限なし 1.5時間 日本語 オンデマンド

オンデマンド ~3月31日

〈キーワード〉授業支援システム、LMS、教育学習支援情報システム、教育情報化

〈概要〉本研修では、授業支援システム CLE でのコース作成方法の修得を目的に、CLEの基本操作について学びます。本研修は講義動画による非同期型の研修です。

《問合せ先：サイバーメディアセンター 情報メディア教育研究部門 ☐ecs-request@ecs.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：事前の受講申込は不要です。  
CLEにログイン後、CLEの「CMC情報教育システムオンラインセミナー」コミュニティへ参加ください。》

### 授業支援システム(CLE)応用講座

講師：外部講師

白井詩沙香(サイバーメディアセンター 講師)  
浦西友樹(サイバーメディアセンター 准教授)



制限なし 2.5時間 日本語 オンデマンド

オンデマンド ~3月31日

〈キーワード〉授業支援システム、LMS、教育学習支援情報システム、教育情報化

〈概要〉本研修では、授業支援システム CLE でのコース作成方法の修得を目的に、CLEの応用機能について学びます。本研修は講義動画による非同期型の研修です。

《問合せ先：サイバーメディアセンター 情報メディア教育研究部門 ☐ecs-request@ecs.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：事前の受講申込は不要です。  
CLEにログイン後、CLEの「CMC情報教育システムオンラインセミナー」コミュニティへ参加ください。》

### オンラインビデオ教材作成法(Echo編)

講師：浦西友樹(サイバーメディアセンター 准教授)

浦田悠(スチューデント・ライフサイクルサポートセンター 特任准教授)

制限なし 1.5時間 日本語 オンデマンド



オンデマンド ~3月31日

〈キーワード〉Echo360、オンライン授業、ICT活用、アクティブ・ラーニング

〈概要〉大阪大学の教職員であれば無料で使用できる Echo360 社の講義収録配信システムを用いれば、機材を設置している教室もしくはお手持ちのパソコンで、手軽にオンラインビデオ教材を作成・配信することができます。専用のアプリケーションとウェブカメラ(内蔵 or 外付け)を使えば、パソコン画面とカメラ映像の2画面を同時に収録・配信することも可能です。現在、このシステムは、オンライン授業はもちろん、予習や復習、出張時等の授業のオンライン化、補講での活用の他、部局や研究室でのオンライン講習や特別な配慮が必要な学生のための配信等、学内で様々な形で利活用されています。本セミナーでは、ご自身のパソコンで実際に映像教材を作成する方法を学び、授業等での活用方法をご検討いただきます。

\*受講の際は(可能であればウェブカメラ付の)パソコン(Windows もしくは Mac)および大阪大学個人ID・パスワードをご準備ください。

\*ご自身のCLEのコースをお持ちでない教職員の方は、別途Echo窓口(echo360@ml.office.osaka-u.ac.jp)までご連絡ください。

《問合せ先：全学教育推進機構 教育学習支援部 ☐tlsc@celas.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：事前の受講申込は不要です。  
CLEにログイン後、CLEの「CMC情報教育システムオンラインセミナー」コミュニティへ参加ください。》

- 定員
- 受講時間
- 使用言語
- 研修形式

※掲載内容は8月4日時点の情報です。新型コロナウイルス感染症の感染状況により、対面での研修が困難となった場合、プログラムを中止、もしくは、オンライン形式での実施へ変更となる可能性があります。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンドай」(FD関係)にてご確認ください。



## STEM コンピューティング・プラットフォーム Maple 講習会

講師：外部講師

**オンライン** 10月21日 9:00-12:00

〈キーワード〉数式処理、数値解析、Maple、ハンズオンセミナー

〈概要〉本研修では、サイバーメディアセンターが全学ライセンスを購入している Maple の基本操作の修得を目的に、Maple の基本構成と原理、Maple の基本操作方法、グラフの描画、微積分計算と積分変換、その他の機能について学びます。

《問合先：サイバーメディアセンター 情報メディア教育研究部門》 [✉ecs-request@ecs.osaka-u.ac.jp](mailto:ecs-request@ecs.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：詳細は情報教育システム利用教員メーリングリスト、サイバーメディアセンターホームページ等で開催を告知する。》

300名程度  
 3時間  
 日本語  
 オンライン

## 研究能力 開発プログラム

学術情報の迅速かつ効率的な収集方法や発信方法、厳守すべき研究倫理など、研究を行う上で必要な能力開発を目指すプログラムです。

◎受講にあたり、特別な配慮が必要な場合、開催2週間前までにご連絡ください。  
◎本プログラムへの参加は「大阪大学FDポイント」に反映されます。ご自身のFDポイントはCLE上で確認できます。

## 特許入門セミナー ～研究成果を適切に活用するために～

講師：梶田剛(弁理士)  
向井秀一(弁理士)

**オンライン** 10月29日 13:00-16:15

〈キーワード〉知的財産、特許、知的創造サイクル、利用、出願手続

〈概要〉特許に関する基本的内容を学びます。その後、特許権を取得するメリット及び取得するための手続きについて学習します。特許に関する知識を有していない人でも、特許とは何か、特許権を取得するメリット、及び特許出願の一通りの手続きについて理解することを目的とします。

《問合先：知的基盤総合センター》 [✉mukashu@iprism.osaka-u.ac.jp](mailto:mukashu@iprism.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：電子メールで、連絡先メールアドレス (mukashu@iprism.osaka-u.ac.jp) まで、①氏名、②所属を明記の上で参加希望の旨をご連絡ください。》

20名  
 3時間  
 日本語  
 オンライン

## 研究室の教育指導

講師：佐藤浩章(全学教育推進機構 准教授)  
橋爪章仁(理学研究科 教授)

**オンライン** 11月7日 13:00-15:00、11月9日 13:00-15:00

〈キーワード〉研究室教育、研究室マネジメント、研究室理念(ラボ・ポリシー)

〈概要〉ゼミや研究室での研究指導はうまくいっているでしょうか。研究室教育は日本が誇る大学教育の方法です。徒弟制を基盤としたこの教育方法をうまく実施するためには、徒弟制教育の特徴を理解し、研究室の理念(ラボ・ポリシー)の共有、年間に渡る教育イベントの設計など、いくつかの押さえるべきポイントがあります。阪大での優れた研究室教育の事例を通して、自身の所属する研究室へどう実装するかを考える機会とします。

《問合先：全学教育推進機構 教育学習支援部》 [✉tlsc@celas.osaka-u.ac.jp](mailto:tlsc@celas.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：全学教育推進機構 教育学習支援部のウェブサイト (<http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/>) にて、開催前日の15時までに申し込みください。》

制限なし  
 2時間  
 日本語  
 オンライン

## 日本の科学技術政策の現在と課題 –第6期科学技術・イノベーション基本計画を中心に–

講師：標葉隆馬(社会技術共創研究センター 准教授)

**オンライン** 11月21日 15:00-16:30

〈キーワード〉科学技術政策、科学技術基本法、科学技術・イノベーション基本法、科学技術基本計画

〈概要〉日本の科学技術政策の歴史と現状を概観し、2021年に施行された科学技術・イノベーション基本法とそれに基づく第6期科学技術・イノベーション基本計画によって生じる影響を理解することで、今後の研究活動環境・競争的資金の変化に関わる理解の基礎を構築します。

《問合先：社会技術共創研究センター(ELSIセンター)》 [✉info@elsi.osaka-u.ac.jp](mailto:info@elsi.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：社会技術共創研究センター(ELSIセンター)のウェブサイト (<https://elsi.osaka-u.ac.jp>) に掲載される開催案内ページ内の申込フォームから必要事項を入力。》

90名程度  
 1.5時間  
 日本語  
 オンライン

## 研究評価を知る－日本の制度と海外の状況

講師：標葉隆馬(社会技術共創研究センター 准教授)

**オンライン** 11月28日 15:00-16:30

〈キーワード〉研究評価制度、科学技術政策

〈概要〉日本の研究評価制度の現状を概観したうえで、国内外で導入されつつある研究評価の新しい視点(インパクト評価など)について知り、今後の研究評価制度の変化に対する理解を獲得します。

《問合先：社会技術共創研究センター(ELSIセンター)》 [✉info@elsi.osaka-u.ac.jp](mailto:info@elsi.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：社会技術共創研究センター(ELSIセンター)のウェブサイト (<https://elsi.osaka-u.ac.jp>) に掲載される開催案内ページ内の申込フォームから必要事項を入力。》

90名程度  
 1.5時間  
 日本語  
 オンライン

## 個人研究力分析とその活用(国際的に見える研究へ)

講師：江村勝治(経営企画オフィス 特任教授)  
村木倫子(経営企画オフィス 准教授)  
尾瀬彩子(経営企画オフィス 特任学術政策研究員)

**吹田** 11月21日 16:00-17:00、12月5日 16:00-17:00、  
12月19日 16:00-17:00

〈キーワード〉研究力分析、計量書誌学、オープンアクセス論文、スコープス

〈概要〉研究活動を進めていく上では、自己の研究力をファクトベースで客観的に俯瞰していただくことが大事です。この研修では、オンライン学術データベース(Scopus)や研究分析ツール(SciVal)の操作方法を学んだ上で、個人の研究力分析を実習的に行うとともに、研究力分析結果を今後の研究活動に活かす方法について学びます。

《問合先：経営企画オフィス IR 部門 庶務担当》 [✉nakamura-mari-m@office.osaka-u.ac.jp](mailto:nakamura-mari-m@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：令和4年11月7日正午までに上記問合先へメールにて直接申し込み下さい。》

20名  
 計3時間  
 日本語  
 対面



**限定** 微生物病研究所

## RIMD FD seminar series : Academic English for RIMD Researchers

講師：Neville Greening (非常勤講師)

**吹田** 2月～3月 4回開催予定

〈キーワード〉Academic English, Scientific writing skills, Journal paper submission, English communication skills, Group work

〈概要〉英語による学術論文の投稿について基礎から学びます。ライティングスキルだけでなく、質疑応答も行い、英語によるコミュニケーションや対応のノウハウも学ぶことができます。これから初めて論文を投稿する方も、既に投稿経験のある方にも役に立つ英語研修です。

《問合先：微生物病研究所 企画広報推進室》 [✉kikaku@biken.osaka-u.ac.jp](mailto:kikaku@biken.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：開催約1か月前にメール通知後、メールによる参加受付。》

20名  
 6時間  
 English  
 対面

**限定** 微生物病研究所、免疫学フロンティア研究センター

## 不正防止について

講師：岡田雅人(微生物病研究所 所長)

**オンライン** 適宜

〈キーワード〉研究不正、研究倫理、捏造、改ざん、剽窃、不正使用

〈概要〉本研修は「微生物病研究所・IFReC 諸施設の利用に関する合同オリエンテーション」における1メニューであり、微生物病研究所、IFReC に所属する全教職員・学生に対し、微生物病研究所所長によるオンラインレクチャー(オンデマンド)が行われる。また、5月以降の新任者にも、オンライン視聴を義務付ける。研究不正について、特に研究倫理不正と研究費不正にわけて解説をし、研究者のみならず、研究に関わる全ての学生・職員に対し、研究不正に手を染めないよう改めて注意を喚起することで、研究不正を未然に防止することを目的とする。

《問合先：微生物病研究所 企画広報推進室》 [✉suishin@biken.osaka-u.ac.jp](mailto:suishin@biken.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：4月はじめに各分野宛に受講者募集に係る通知。受講希望者は、申込フォームを記入しメールにて上記担当部署まで申し込む。》

制限なし  
 0.33時間  
 日本語/オンデマンド  
 English

※掲載内容は8月4日時点の情報です。  
新型コロナウイルス感染症の感染状況により、対面での研修が困難となった場合、プログラムを中止、もしくは、オンライン形式での実施へ変更となる可能性があります。最新情報は各開催部局にお問い合わせください。

- 定員
- 受講時間
- 使用言語
- 研修形式



## 研究能力 開発プログラム

**限定** 生命機能研究科(兼任教員在籍の他理系部局含む)

### 生命機能研究科コロキウム(FBSコロキウム)

講師：年間予定表に準ずる(下記 URL 参照)

<https://www.fbs.osaka-u.ac.jp/ja/news/detail/599>

**オンライン** 毎週木曜日 12:15-13:00

〈キーワード〉生命科学、生命のしくみ、融合研究

〈概要〉このセミナーシリーズは、週1回のランチタイムに生命機能研究科関係者、研究室ごと(入れ替わり)で、最新の研究を紹介し、研究内容や課題を共有し研究交流促進が図られています。お互いに議論することで研究科が目指す分野を超えた「融合」研究の熟成の場となっています。

《問合先：生命機能研究科 企画広報室 [✉ fbs-kikaku@fbs.osaka-u.ac.jp](mailto:fbs-kikaku@fbs.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：上記問合先へ申し込み、視聴すること。》

300名 0.75時間 日本語/English オンライン

**限定** 情報科学研究科

### IST ランチセミナー

講師：情報科学研究科 教員

**吹田** 又は **オンライン** 毎週1回程度 12:00-13:00

〈キーワード〉SDGs、融合研究、研究力向上

〈概要〉情報科学研究科内での融合研究促進を目的とし、各研究者の研究内容や課題の共有、及びディスカッションを行う。

《問合先：情報科学研究科 研究戦略企画室 [✉ ura@ist.osaka-u.ac.jp](mailto:ura@ist.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：研究科内の構成員宛てに受講に係る通知を予定。》

各回30名 1時間 日本語/English 対面又はオンライン

**限定** 蛋白質研究所

### 蛋白研コロキウム

講師：各回により異なる

**吹田** **オンライン** 隔月 1 回程度(日程未定)

〈キーワード〉蛋白質、構造生物学、異分野融合研究

〈概要〉蛋白質および蛋白質に関連した異分野融合研究の最新動向を知ることにより、所内研究者の研究に活かすことを目的として、主に所内教員の最新研究に関する講演を開催します。年数回、場所は蛋白質研究所本館 1 階講堂で行います。若手研究者として大学院生も対象となる場合があります。

《問合先：蛋白質研究所 庶務係 [✉ tanpakuken-syomu@office.osaka-u.ac.jp](mailto:tanpakuken-syomu@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：開催の約1か月前に本部局構成員宛てメールにて通知予定。》

各回60名程度 各回1時間程度 日本語 対面オンライン

**限定** 情報科学研究科

### IST ネットワーキングイベント

講師：情報科学研究科外の研究者

**吹田** 又は **オンライン** 隔月

〈キーワード〉SDGs、融合研究、研究力向上

〈概要〉情報科学研究科と研究科外の研究者との融合研究促進を目的とし、情報科学研究科外から研究者を招き、研究内容や課題の共有、及びディスカッションを行う。

《問合先：情報科学研究科 研究戦略企画室 [✉ ura@ist.osaka-u.ac.jp](mailto:ura@ist.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：研究科内の構成員宛てに受講に係る通知を予定。》

各回30名 1.5時間 日本語/English 対面又はオンライン

## アドバンストセミナー

講師：各回により異なる

**吹田** **オンライン** 毎月1回(3月を除く) 16:00-17:00

〈キーワード〉感染症、免疫学

〈概要〉学外から招聘した感染症学・免疫学分野の第一線の研究者によるレクチャーを開催する。基本的に月1回。本セミナーは大学院高度副プログラム及び医学系研究科単位認定セミナーであり、若手研究者としての大学院生も対象。各分野エキスパートの研究者による専門的なレクチャーにより、大学院生や若手研究者に感染症学・免疫学に関する最新の知識を得ることを目的とする。

《問合先：微生物病研究所 企画広報推進室 [✉ suishin@biken.osaka-u.ac.jp](mailto:suishin@biken.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：各回の前月に微生物病研究所と免疫学フロンティア研究センターの各分野、医学系研究科、その他理系生命系部局に開催案内を通知。オンサイトの場合は受講希望者は事前申込なしに当日直接受講できる。オンラインの場合は事前申込制(メールで申込)。FD 新任研修としての受講希望者は、別途メールにて上記担当部署まで申し込む。》

制限なし 各回1時間 日本語/English 対面オンライン

**限定** 微生物病研究所、免疫学フロンティア研究センター及び医学系研究科

### 微研集談会

講師：各回により異なる

**吹田** 又は **オンライン** 毎月第4火曜日(12、1月を除く) 16:00-17:00

〈キーワード〉感染症、免疫学、がん、ゲノム解析学

〈概要〉微生物病研究所、IFReC に所属する若手教職員を中心に、最新の研究成果について発表と、質疑応答を行う。本研究セミナーは医学系研究科単位認定セミナーでもあり、若手研究員としての大学院生教育目的も併せ持つ。分野を超えた研究者の交流により、研究に対する視野を広げるとともに、活発な意見交換による研究者同士の切磋琢磨促進を目的とする研究セミナーである。

《問合先：微生物病研究所 企画広報推進室 [✉ suishin@biken.osaka-u.ac.jp](mailto:suishin@biken.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：各回の前月に微生物病研究所と免疫学フロンティア研究センターの各分野及び医学系研究科に開催案内を通知。受講希望者は事前申込なしに当日直接受講できる。FD 新任研修としての受講希望者は、別途メールにて担当部署まで申し込む。》

制限なし 各回1時間 日本語/English 対面又はオンライン

## オープンアクセスを巡る状況と大阪大学におけるオープンアクセス支援

講師：図書館職員

**オンライン** ~3月31日

〈キーワード〉オープンアクセス、電子ジャーナル、論文掲載料、粗悪学術誌・ハゲタカジャーナル、機関リポジトリ、大阪大学オープンアクセス方針

〈概要〉電子ジャーナルの価格高騰、論文掲載料(APC)を必要とするオープンアクセス誌やハイブリッド誌の広がり、粗悪学術誌(いわゆるハゲタカジャーナル)の出現など、大きく変わりつつある学術情報流通、とりわけオープンアクセスを巡る動向を学ぶ。加えて、大阪大学におけるオープンアクセスへの支援内容を理解する。

《問合先：附属図書館 図書館企画課 企画係 [✉ tosyo-kikaku-kikaku@office.osaka-u.ac.jp](mailto:tosyo-kikaku-kikaku@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：事前申込は不要です。  
大阪大学 CLE にて動画を配信するので、受講後に所定のフォームから受講報告をしていただきます。》

制限なし 1時間 日本語 オンデマンド

定員

受講時間

使用言語

研修形式

※掲載内容は8月4日時点の情報です。新型コロナウイルス感染症の感染状況により、対面での研修が困難となった場合、プログラムを中止、もしくは、オンライン形式での実施へ変更となる可能性があります。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンドай」(FD 関係)にてご確認ください。



## 社会学連携能力 開発プログラム

緒方洪庵が開いた適塾や大阪大学の歴史など本学への理解を深めるプログラムや、実社会と連携した教育や研究の進め方についてのプログラムです。

◎受講にあたり、特別な配慮が必要な場合、開催2週間前までにご連絡ください。  
◎本プログラムへの参加は「大阪大学FDポイント」に反映されます。ご自身のFDポイントはCLE上で確認できます。

## 研究・教育のアウトリーチ活動における大学博物館の活用

講師：伊藤謙(総合学術博物館 講師)

**豊中** 11月1日 13:00-14:30

〈キーワード〉アウトリーチ、大学博物館、研究、教育

〈概要〉研究や教育のアウトリーチ活動の場として、大学博物館を活用するメソッドの習得を目的とする。昨今、大学教職員の社会貢献の必要性が重要視され、教育や研究のアウトリーチ活動が必須となっている。本学では研究や教育のアウトリーチの場として、大学博物館を活用しており、その方法は展覧会、シンポジウム、ミュージアムレクチャーと多岐に渡る。本研修では、実例の見学を踏まえてメソッドや考え方を習得する。具体的には2022年度秋季展覧会を展示担当者の解説を交えながら見学し、実際のなアプローチについて講座を実施する。

《問合せ先：共創推進部 博物館・適塾記念センター等事務室 総務係 ☐ kyouso-museum-tekijuku@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：10月頃にICHO掲示板にて受講者募集予定。》

15名 1.5時間 日本語 対面

## 大阪大学の歴史

講師：菅真城(アーカイブズ 教授)

**オンライン** 11月21日 15:10-16:40

〈キーワード〉大阪大学、大阪帝国大学、大阪外国語大学

〈概要〉前身諸学校を含む大阪大学の歴史について、重要トピックを取り上げ、時系列に学びます。また、歴史を明らかにするうえでの資料の重要性について学びます。

《問合せ先：アーカイブズ ☐ souki-soumu-bunsho@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：各部署宛てに開催通知を行いますので、各部署で参加希望者を取りまとめるうえ、上記のアドレスに名簿を提出してください。》

40名 1.5時間 日本語 オンライン

## 新任教員向け適塾見学会～阪大の歴史を辿る～

講師：野村玄(人文学研究科 准教授)

**適塾** 未定(2月～3月頃)

大阪市中央区北浜近辺 ※現地集合・現地解散予定

〈キーワード〉適塾、適塾見学会、映画、適塾記念センター、適塾記念会、阪大の歴史、適塾顕彰活動、精神的源流、文化財

〈概要〉本学の教職員を対象として、『適塾と大阪大学の繋がり』に関する歴史的・精神認識や、適塾記念センター及び適塾記念会の顕彰事業の内容を啓発するために実施するものです。

〈目的〉適塾が阪大の精神的源流とされる歴史認識や精神的意義を阪大構成員に伝え、理解いただくこと。  
・適塾記念センター・適塾記念会が適塾顕彰活動を広く学内に啓発し、理解いただくこと。  
・適塾と実際に触れていただき、身近に感じていただくこと。

《問合せ先：共創推進部 博物館・適塾記念センター等事務室 総務係 ☐ kyouso-museum-tekijuku@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：1月をめぐりに、博物館・適塾記念センター等事務室より各部署にメールにて募集要項・チラシなどを配付し、マイハンダイ申込フォームにて参加を募る。》

25名 1.5時間 日本語 対面

## 適塾から受け継ぐレガシー -歴史・精神・文化財-

講師：野村玄(人文学研究科 准教授)

島田昌一(医学系研究科 教授)

松永和浩(適塾記念センター 准教授)

**オンライン** 未定(2月～3月頃)

〈キーワード〉適塾、適塾記念センター、適塾記念会、阪大の歴史、適塾顕彰活動、精神的源流、文化財

〈概要〉緒方洪庵が開いた適塾・除痘館から大阪大学につながる歴史的事実を確認し、洪庵・適塾の教育・研究から阪大に連なる精神的源流を見出し、阪大・適塾記念会が文化財として適塾の遺産をどう守り伝えて来たかを説明します。

・適塾から大阪大学へ 45分  
・緒方洪庵・適塾の教育・研究 45分  
・文化財としての適塾 40分

〈目的〉適塾が阪大の精神的源流とされる歴史的背景や意義を阪大構成員に伝え、認識を深めること。  
・適塾記念センター・適塾記念会が適塾顕彰活動を広く学内に発信し、認識を深めること。

《問合せ先：共創推進部 博物館・適塾記念センター等事務室 総務係 ☐ kyouso-museum-tekijuku@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：1月をめぐりに、博物館・適塾記念センター等事務室より各部署にメールにて募集要項・チラシなどを配付し、マイハンダイ申込フォームにて参加を募る。》

100名 2.5時間 日本語 オンライン

## 映画『洪庵と1,000人の若ものたち』鑑賞と解説

講師：松永和浩(適塾記念センター 准教授)

**オンデマンド** 10月～3月(随時)

〈キーワード〉適塾、適塾記念センター、適塾記念会、阪大の歴史、適塾顕彰活動、精神的源流、文化財

〈概要〉映画『洪庵と1,000人の若ものたち』に収録された、適塾の様子を再現したドラマや適塾の解体修復工事の記録を通じ、大阪大学の精神的源流を見出し、阪大・適塾記念会が文化財として適塾の遺産をどう守り伝えて来たかを学び、大阪大学の歴史を社会に発信できる人材を育成する。

・映画『洪庵と1,000人の若ものたち』の鑑賞 50分  
・映画の解説(松永和浩) 40分

〈目的〉適塾が阪大の精神的源流とされる歴史的背景や意義を阪大構成員に伝え、認識を深めること。  
・適塾記念センター・適塾記念会が適塾顕彰活動を広く学内に発信し、認識を深めること。

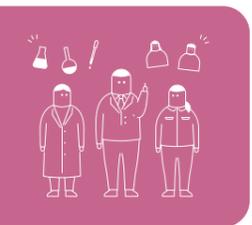
《問合せ先：共創推進部 博物館・適塾記念センター等事務室 総務係 ☐ kyouso-museum-tekijuku@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：博物館・適塾記念センター等事務室より各部署にメールにて募集要項・チラシなどを配付し、マイハンダイ申込フォームにて参加を募る。》

制限なし 1.5時間 日本語 オンデマンド

- 定員
- 受講時間
- 使用言語
- 研修形式

※掲載内容は8月4日時点の情報です。  
新型コロナウイルス感染症の感染状況により、対面での研修が困難となった場合、プログラムを中止、もしくは、オンライン形式での実施へ変更となる可能性があります。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」(FD関係)にてご確認ください。



## マネジメント能力 開発プログラム

薬品や廃液の取扱など安全衛生に関わる内容や、各種コンプライアンスに関わる内容など、組織の管理運営能力の開発を目指すプログラムです。

◎受講にあたり、特別な配慮が必要な場合、開催2週間前までにご連絡ください。  
◎本プログラムへの参加は「大阪大学FDポイント」に反映されます。ご自身のFDポイントはCLE上で確認できます。

**限定** 産業科学研究所

### メンタルヘルスマネジメント講習会

講師：金山大祐(キャンパスライフ健康支援・相談センター 准教授)

**吹田** 11月17日 14:00-15:00

〈キーワード〉精神的疲労、ストレス、メンタルヘルス、精神障がい

〈概要〉精神的疲労、ストレス、悩みなどを抱える学生に対する緩和やサポートの方法及び精神障がいの予防、回復の方法についてのメンタルヘルス対策を専門講師より学び、教職員が学生に寄り添い、学生が健やかな学生生活を送るための知識を習得することを目的とします。

《問合せ先：産業科学研究所 総務課 総務係》  
✉ sanken-soumu-soumu@office.osaka-u.ac.jp》  
《申込方法：開催の約1か月前に本局構成員宛てメールにて通知予定。》



**限定** 文学部

### 文学部ハラスメント防止講習会

講師：濱田綾(キャンパスライフ健康支援・相談センター 助教)

**豊中** 3月7日 15:40-16:40

〈キーワード〉ハラスメント

〈概要〉各種ハラスメント行為に関する文学部教職員の認識・理解を深化させて、ハラスメントの防止徹底を図ります。

《問合せ先：人文学研究科 文学部ハラスメント問題委員会 委員長 松井太》  
✉ dmatsui@let.osaka-u.ac.jp》  
《申込方法：原則として学部内限定。他部局所属の教職員の参加については応相談。》



**限定** 人文学研究科及びマルチリンガル教育センター

### 人文学研究科ハラスメント防止研修会

講師：未定

**豊中** 11月17日 15:10-16:10

〈キーワード〉ハラスメント防止

〈概要〉構成員へのハラスメント防止に係る意識啓発のため、ハラスメント防止に係る講演を行います。

《問合せ先：人文学研究科 豊中事務部 総務係》  
✉ jinbun-soumu@office.osaka-u.ac.jp》  
《申込方法：申込不要。詳細は対象者に別途通知。》



**限定** 人文学研究科・外国語学部

### キャンパスハラスメントに関する研修会

講師：未定

**箕面** 日時未定

〈キーワード〉ハラスメント、ハラスメント対策、ハラスメント防止

〈概要〉ハラスメントに関する講演会を行います。  
ハラスメント防止に係る講演を通じ、ハラスメント防止に係る意識啓発を行うことを目的とします。

《問合せ先：人文学研究科 箕面事務部 庶務係》  
✉ jinbun-minoh-shomu@office.osaka-u.ac.jp》  
《申込方法：部局内構成員宛に開催通知を予定。なお、新任教員については、メールにて担当まで事前に申し込むこと。余裕があれば、学生及び学内教職員宛に通知予定。》



**限定** 蛋白質研究所

### コンプライアンス講習会

講師：蛋白質研究所 会計係、研究支援係

**オンデマンド** 11月頃

〈キーワード〉コンプライアンス、公的研究費、不正使用防止、教員発注制度

〈概要〉不正使用防止計画推進室から提供されたコンプライアンス教育用教材等に基づき、部局におけるコンプライアンス教育の一つとして、公的研究費の運営・管理に関わる教職員向けに講習会を行います。  
公的研究費の不正使用を事前に防止するため、使用ルールやそれに伴う責任等についての理解を深めることを目的とします。

《問合せ先：蛋白質研究所》  
✉ tanpakuken-syomu@office.osaka-u.ac.jp》  
《申込方法：開催の約1か月前に本局構成員宛てメールにて通知予定。》



**限定** 電気工学科

### 電気コンセントと電気配線の安全講習

講師：百瀬英毅(安全衛生管理部 教授)

**オンデマンド** 日時未定

〈キーワード〉電気コンセント

〈概要〉実験等で安全に電気を取り扱うための基本事項を取得することを目的とする。

《問合せ先：総務部 安全衛生管理室 推進第一係》  
✉ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp》  
《申込方法：9～10月頃に各部局宛てに受講者募集に係る通知を予定。受講希望者は、各部局担当者に申し込むこと。》



**限定** 蛋白質研究所

### 蛋白研防災安全講習会

講師：未定

**吹田** 11月頃

〈キーワード〉防災、消火訓練、安全管理

〈概要〉所内学生・教職員を対象に、災害時の避難方法、消火器の使用方法等について実地訓練を行い、緊急時の対応法を学び、防災意識の向上を図ること目的として実施します。

《問合せ先：蛋白質研究所 庶務係》  
✉ tanpakuken-syomu@office.osaka-u.ac.jp》  
《申込方法：開催の約1か月前に本局構成員宛てメールにて通知予定。》



**限定** 工学部

### 高圧ガス・液体寒剤に関する安全講習 (低温センター吹田分室編)

講師：中本将嗣(低温センター 助教)

**吹田** **オンライン** **オンデマンド** 日時未定

〈キーワード〉高圧ガス・液体寒剤

〈概要〉低温寒剤の安全な取扱い方と注意点及び低温センターの利用法について講習します。また高圧ガスや高圧ガスボンベの取扱いについて初歩的な講習を行います。高圧ガス・液体寒剤の取扱い及び注意点について習得することを目的とする。

《問合せ先：総務部 安全衛生管理室 推進第一係》  
✉ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp》  
《申込方法：9～10月頃に各部局宛てに受講者募集に係る通知を予定。受講希望者は、各部局担当者に申し込むこと。》



- 定員
- 受講時間
- 使用言語
- 研修形式

※掲載内容は8月4日時点の情報です。  
新型コロナウイルス感染症の感染状況により、対面での研修が困難となった場合、プログラムを中止、もしくは、オンライン形式での実施へ変更となる可能性があります。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」(FD関係)にてご確認ください。



## マネジメント能力 開発プログラム

### 高圧ガス・液体寒剤に関する安全講習 (低温センター豊中分室編)

講師：竹内徹也(低温センター 助教)

**豊中** **オンライン** **オンデマンド** 日時未定

〈キーワード〉高圧ガス・液体寒剤

〈概要〉低温寒剤の安全な取扱い方と注意点及び低温センターの利用法について講習します。また高圧ガスや高圧ガスボンベの取扱いについて初歩的な講習を行います。高圧ガス・液体寒剤の取扱い及び注意点について習得することを目的とする。

《問合せ先：総務部 安全衛生管理室 推進第一係 [✉ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp](mailto:anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：9～10月頃に各部局宛てに受講者募集に係る通知を予定。受講希望者は、各部局担当者に申し込むこと。》



### 実験系廃液・排水の取扱い

講師：角井伸次(環境安全研究管理センター 准教授)

**オンライン** **オンデマンド** 日時未定

〈キーワード〉実験系廃液・排水の取扱い

〈概要〉実験系廃液の取扱いでは、実験室で生じる廃液の貯留区分や回収方法、注意点など危険な事例を含めて研修します。また実験系排水の取扱いでは、実験器具の洗浄方法・排水の規制項目や注意点、水質汚濁防止法の有害物質、管理要領・点検表、特定施設の届出などについて研修します。有機廃液管理責任者、無機廃液管理責任者、排水管理責任者に実験系廃液・排水についての取扱いについて習得することを目的とする。

《問合せ先：総務部 安全衛生管理室 推進第一係 [✉ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp](mailto:anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：9～10月頃に各部局宛てに受講者募集に係る通知を予定。受講希望者は、各部局担当者に申し込むこと。》



### 詳解：化学物質安全取扱講習

講師：山本仁(安全衛生管理部 教授)

**吹田** **豊中** **オンライン** 日時未定

〈キーワード〉化学薬品

〈概要〉化学薬品の安全な取扱いに関する知識と、関連する主な法令に基づく適切な薬品管理の方法について解説します。また、薬品等の廃棄に関連する方法、概念についても説明します。化学薬品の安全な取扱いに関する知識と法令に基づく適切な薬品管理の方法を取得することを目的とする。

《問合せ先：総務部 安全衛生管理室 推進第一係 [✉ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp](mailto:anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：9～10月頃に各部局宛てに受講者募集に係る通知を予定。受講希望者は、各部局担当者に申し込むこと。》



### 大阪大学高圧ガス管理支援システム(OGCS) 利用講習

講師：中本将嗣(低温センター 助教)

**吹田** **豊中** **オンライン** **オンデマンド** 日時未定

〈キーワード〉高圧ガス管理支援システム(OGCS)

〈概要〉高圧ガスを取り扱う教職員で大阪大学高圧ガス管理システム(OGCS)を使用する教職員が使用方法を習得する。部局で運用が開始された大阪大学高圧ガス管理システム(OGCS)の使用方法について説明します。

《問合せ先：総務部 安全衛生管理室 推進第一係 [✉ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp](mailto:anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：9～10月頃に各部局宛てに受講者募集に係る通知を予定。受講希望者は、各部局担当者に申し込むこと。》



### 大阪大学薬品管理支援システム(OCCS IV)の利用について

講師：角井伸次(環境安全研究管理センター 准教授)

**オンライン** **オンデマンド** 日時未定

〈キーワード〉大阪大学薬品管理支援システム(OCCS IV)

〈概要〉大阪大学薬品管理支援システム(OCCS IV)の使用方法(化学薬品の登録と集計)を習得することを目的としている。また、化学物質に関連する法令等による規制についても理解を深める。

《問合せ先：総務部 安全衛生管理室 推進第一係 [✉ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp](mailto:anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：9～10月頃に各部局宛てに受講者募集に係る通知を予定。受講希望者は、各部局担当者に申し込むこと。》



### 非化学系のための化学薬品取扱講習

講師：山本仁(安全衛生管理部 教授)

**吹田** **豊中** **オンライン** 日時未定

〈キーワード〉化学薬品

〈概要〉非化学系(生物系・物理系)の研究分野で化学薬品を取り扱う教職員に対して、化学物質が危険性・有害性を有していること、管理の必要性、法規制、管理方法、危険有害性情報、法令情報の取得方法について学びます。非化学系(生物系・物理系等)の研究分野で化学薬品を取り扱う教職員が安全な取扱いについて必要な知識を取得することを目的とする。

《問合せ先：総務部 安全衛生管理室 推進第一係 [✉ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp](mailto:anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：9～10月頃に各部局宛てに受講者募集に係る通知を予定。受講希望者は、各部局担当者に申し込むこと。》



**限定** 産業科学研究所

### ハラスメント防止に関する講習会

講師：大阪大学ハラスメント相談室 専門相談員

**吹田** 11月～2月頃予定 14:00-15:30

〈キーワード〉ハラスメント防止

〈概要〉講義形式やグループディスカッション等で実例をもとに学習します。ハラスメントに関する基礎的な事項及び実例等を学ぶことでハラスメントに対する理解を深め、防止を図るとともに、対処方法を学びます。

《問合せ先：産業科学研究所 総務課 人事係 [✉ sanken-soumu-jinji@office.osaka-u.ac.jp](mailto:sanken-soumu-jinji@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：所内メールにて通知を行い、参加申込みをしていただきます。》



**限定** 人文学研究科

### 公的研究費の使用に関するコンプライアンス教育について

講師：事務職員

**豊中** 新規採用教員に採用説明時に実施

〈キーワード〉公的研究費、教員発注制度、不正使用防止、コンプライアンス

〈概要〉不正使用防止計画推進室から提供された部局等コンプライアンス教育用教材等に基づき、部局におけるコンプライアンス教育の一環として、説明会を開催するもの。

《問合せ先：人文学研究科 事務部 [✉ bunsouhaku-kaikei@office.osaka-u.ac.jp](mailto:bunsouhaku-kaikei@office.osaka-u.ac.jp)》



定員

受講時間

使用言語

研修形式

※掲載内容は8月4日時点の情報です。新型コロナウイルス感染症の感染状況により、対面での研修が困難となった場合、プログラムを中止、もしくは、オンライン形式での実施へ変更となる可能性があります。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンドай」(FD関係)にてご確認ください。